

1 施設の操業状況について (資料1)

<4月と5月、6月の搬入実績比較>

- 搬入量は、ペット、容リプラそれぞれ、  
4月：73t、310t 5月：88t、351t 6月：85t、307t
- 一日当たり搬入量は、  
4・5・6月それぞれ17t、19t、20t → 微増傾向
- 一日平均搬入車両台数は36台から38台程度で推移

2 依頼事項について

(1) 緊急停止時の復旧手順

想定される緊急停止は、火災、労働災害、設備機器の故障、VOC濃度異常発生時、いずれも復旧・確認後、操業を開始する。

<施設周辺地域住民への対応>

火災	臨時運営連絡会を開催し、報告・説明を行う。
労働災害	運営連絡会で報告する。
操業に係る設備機器の故障	運営連絡会で報告する。
VOC濃度異常	運営連絡会で、報告・説明を行う。

※VOCの90%以上が、ブタン、ペンタン（噴射剤・燃料）、エタノール（お酒）である。資源物へのボンベ、スプレー缶、飲み残しのお酒、香水などの混入が原因と考えられる。

(2) イソシアネートに係る情報 (資料2)

- ウレタンフォーム、塗料、接着剤などに利用されている。
- ほとんどが事業所から大気放出されている。
- 生活空間では、ベットやソファのクッション、合成皮革、冷蔵庫の断熱材などに使われている。
- 人の目や気道などに対する刺激性などがある。
- 喘息、接触皮膚炎などの報告がある。

(3) VOC 四季ブランクデータ (資料3)

○ブランクの年間平均値は、測定場所によって、40 から 42  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  である。

○ただし、資料3のT-VOC = 5月の運営連絡会資料(引渡性能試験 公害防止基準測定結果)のT-VOCではない。測定方法が異なる。

※資料3のT-VOC

有害大気汚染物質測定方法マニュアルに準拠

※5月の運営連絡会資料のT-VOC

シックハウス(室内空気汚染)問題に関する検討会中間報告書に準拠。

(4) 悪臭調査

臭気濃度測定を実施する。

測定場所：プラットホーム、保管ヤード、敷地境界(4か所)、排気口 計7か所

測定時期：8月の操業日の1日、最高気温が想定される時間

(最も臭気が発生されることが予測される時期、時間)

測定立会：立会できなければ写真対応とする。

3 意見交換

4 その他

○ベール(圧縮梱包物)検査の報告

7月4日(木)

ペットボトルの搬入先において、組合立会でベール検査を行った。

結果はAランク(引取り品質ガイドラインを満たすレベル)であった。

※Bランクまでは許容範囲とされている。

○施設見学の受付状況

7月31日(水) 午前 東大和市民団体

8月 1日(木) 午前 小平市消費者団体連絡会

8月22日(木) 午前 小平市議会議員(環境建設委員会)

8月23日(金) 午前 武蔵村山市民団体

9月 2日(月) 午前 東大和市青少年対策委員会

9月24日(火) 午前 東大和市民(園児)

午後 小平市廃棄物減量等推進協議会